

TQMの推進と実践のために

2016年8月25日～9月6日

開催場所：HIDA東京研修センター〈予定〉

本コースの位置づけ(ターゲット)

HIDAは、参加者の職位層により、下記のような体系で品質経営に関するコースを設定しています。本コース (PQM) は、製品・サービスの品質向上に責任を持つ上級管理者を主なターゲットとして設計されたコースです。

	コース名	対象者	ねらい	実施期間
	EPQM	経営者・経営幹部	〈戦略レベル〉 品質に軸足を置いた経営能力の向上	2016年5月18日-25日 (8日間)
	PQM	上級管理者・将来の幹部候補である中級管理者	〈マネジメントレベル〉 トップの方針を受けて品質経営を推進する能力の向上	2016年 8月25日-9月6日 (2週間)
	PQPS	管理監督者・技術者	〈オペレーションレベル〉 品質改善の考え方と技法の習得	【調整中】

本コースの狙い(コースに参加するメリット)

本コースでは、参加者は以下のような知識や能力を身につけることで、自社においてTQM活動を推進・実践できるようになります。

- ① TQM活動の枠組み(歴史的背景を含めて)
- ② 品質と管理についての基本理論
- ③ 方針管理、日常管理、QCサークル、品質保証、品質改善を含むTQM活動の主要な要素についての知識と推進方法
- ④ TQM実践成功企業の主要な成功要因
- ⑤ TQM推進における管理者の役割と責任への新たな洞察

コースディレクター

狩野 紀昭 博士

東京理科大学 名誉教授
 アジア・クオリティ・ネットワーク (ANQ) 名誉会長
 デミング賞本賞選考委員会委員長
 (財)日本科学技術連盟 (JUUSE) 理事
 日本品質管理学会 名誉会員
 国際品質アカデミー (IAQ) 名誉会員
 アメリカ品質学会 (ASQ) 名誉会員
 中国品質協会 (CAQ) 外籍顧問
 デミング賞実施賞小委員会 委員 (1978年～2010年)、
 同委員長 (2004年～2007年)
 (社)日本品質管理学会 (JSQC) 会長 (2000年～2002年)、
 積水化学監査役 (2003年～2009年)
 (株)小松製作所 取締役 (2008年～2014年)
 中原大学 (台湾) 講座教授 (2006年～2012年)
 (一財)海外産業人材育成協会 (HIDA) 理事 (2007年～2012年)

日本のTQM研究の権威。長年にわたりTQMの研究に携わり、“House of TQM”、『魅力的品質と当たり前品質』(Kano Model)等、300編を越える著書・論文がある。特に、Kano Modelの提唱者として世界的に知られている。1997年にデミング賞本賞を受賞したほか、1997年に American Statistical Association Deming Lecturer、アメリカ品質学会 (ASQ) からは2002年に E. Jack Lancaster Medal、2006年に E. L. Grant Medalを受賞。2009年にはASQおよび品質運動に対する生涯の貢献に関するサービスに対して授与される最高のメダルであるDistinguished Service Medalを受賞。さらに2014年には、アジア太平洋品質組織 (APQO) より Feigenbaum Medalを受賞。また、2009年には泰国技術振興協会 (タイ) によってTQMを推進し優良経営で成果を挙げた企業に授与されるKano Quality Award (狩野品質賞) が創設、2010年にはアジア・クオリティ・ネットワーク (ANQ) によってアジアにおける品質の発展に貢献した個人に授与される石川馨教授と共に狩野博士の名前を冠した Ishikawa-Kano Awardが創設されるなど、数々の栄誉に輝く。

安藤 之裕 氏

TQMコンサルタント
 デミング賞委員会 主査委員
 国際品質アカデミー (IAQ) アカデミシャン
 (一社)日本品質管理学会 理事
 QCサークル 埼玉地区 名誉世話人
 ISO/TC176国内対応委員会委員

TQMコンサルタントとして、製造業からサービス産業まで広範な業種にわたり、国内外の多数の企業において活躍。このうち25社がデミング賞実施賞受賞。TQM関連の著書 (共著・監修) 多数。87年、97年日経品質管理文献賞受賞。(財)日本科学技術連盟をはじめ各組織主催の品質管理セミナーの講師を務め、実践的で楽しく教える講師として定評がある。TQM関連の著書 (共著・監修) 多数。1987年及び1997年に日経品質管理文献賞を受賞。また、2010年には(社)日本品質管理学会から品質管理推進功労賞を受賞。2010年に出版した自著 “Daily Management - The TQM way” は、国際品質アカデミー (IAQ) の2011年 Masing Medalを受賞した。

日程（案）

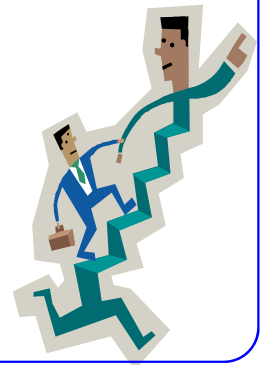
月 日	午 前		午 後	夕方
8月25日 (木)	オリエンテーション 開講式	講義: TQMの中核(1) 品質保証の考え方	講義: TQMの中核(2) 品質保証の進め方	討論・発表: インストラクション、グループ・コンサルテーション(1)
26日 (金)	講義: TQM概論(1)-改善論-		講義: TQM概論(2)-管理論-	討論・発表: グループ・コンサルテーション(2)
27日 (土)	講義: TQM Vehicles(1)-日常管理-		講義: TQM Vehicles(2)-方針管理-	討論・発表: グループ・ディスカッション及びグループ・コンサルテーション(3)
28日 (日)	休日			
29日 (月)	講義: TQM Vehicles (3)-QCサークル活動-		企業見学: QCサークル活動事例	
30日 (火)	講義: TQMの進め方		遠隔講義: タイ企業におけるTQM実施事例	
31日 (水)	(企業 遠隔等 見学)	企業見学: TQM推進事例		
9月1日 (木)		企業見学: TQM推進事例	企業見学: TQM推進事例	
2日 (金)		企業見学: 品質保証事例		(移動)
3日 (土)	休日			
4日 (日)	休日			
5日 (月)	講義: TQM概論(3)-品質理論-		講義: TQM概論(4)-Overview of TQM-	
6日 (火)	最終レポート発表		最終レポート発表/研修総括	修了式

実施言語

すべての講義及び見学は英語あるいは英語通訳付きで実施します。

本コース参加者の声

- 企業見学は非常に楽しかった。あらゆる理論が実践されているところを見ることができ、自分にとって大変重要なものとなった。
(15年度PQM、アルゼンチン)
- 世界最高だと思う。日本の品質管理方法について学べる機会に恵まれたことを非常にありがたいと思う。
(14年度PQM、メキシコ)
- リーダーシップを持った創造的な良いリーダーのためのコース。HIDAはこのようなコースを提供することで、世界中の品質管理にきわめて重要な役割を果たしている。(13年度PQM、ハンガラデシュ)
- TQM推進については、どの企業にも重要かつ必要で、役立つ内容だった。
(12年度PQM、ペルー)
- サービス産業にとっても、TQMは大きな進歩をもたらしてくれるとわかった。また、AOTS担当者の責任感と協力姿勢は、まさに日々の業務の中でTQMを実施している姿だった。
(11年度PQM、スーダン)
- とても素晴らしいコース。私たちの国の発展を強化するために、このような学習機会が必要だ。参加することができて幸せだった。
(10年度PQM、タイ)
- 自社の品質活動を見直す大変良い機会となった。今後、さらに上を目指した活動を進めていきたい。
(09年度PQM、ハンガラデシュ)



—日本への派遣経費には日本政府からの補助金が一部適用されます—

募集要項 http://www.hidajapan.or.jp/jp/ikusei/management/files/16pqm_j.pdf をご覧ください。

お申込締切: 2016年6月21日